

第47回

福島県児童・生徒木工工作コンクール

表彰式

開催日時 令和4年11月26日(土) 午前11時～12時

開催場所 クレールコート(いわき市内郷)

福島県木材青壮年協会

式 次 第

【表 彰 式】

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 来 賓 紹 介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

【記 念 撮 影】

出席者名簿 (敬称略)

【ご来賓】

福島大学人間発達文化学類教授	新井 浩	(あらい ひろし)
関東森林管理局磐城森林管理署長	高塚 慎司	(たかつか しんじ)
福島県農林水産部林業振興課副課長	佐藤 淳	(さとう じゅん)
いわき市農林水産部次長	佐藤 不二夫	(さとう ふじお)
福島民報社いわき支社長	円谷 真路	(つむらや しんじ)
福島県木材協同組合連合会専務理事	前田 洋	(まえだ ひろし)
NHK福島放送局長	細田 修二	(ほそだ しゅうじ)
公益財団法人		
ふくしま海洋科学館理事長	古川 健	(ふるかわ たけし)
磐城流域いわき地区		
林業活性化センター理事長	田子 英司	(たご えいじ)

【主催者】

福島県木材青壮年協会長	山崎 和昭	(やまざき かずあき)
-------------	-------	-------------

【受賞者】

福島県知事賞	第1部	安西 来真	(あんざい くるみ)
〃	第2部	福島 悠太	(ふくしま ゆうた)
福島県教育委員会教育長賞	第1部	菅野 陽翔	(かんの はると)
〃	第2部	和田 千広	(わだ ちひろ)
関東森林管理局長賞		高橋 佐知	(たかはし さち)
いわき市長賞		木村 惺	(きむら せい)
福島民報社長賞		福島 英慈	(ふくしま えいじ)
福島県木材協同組合連合会長賞		下坂 海翔	(しもさか かいと)
福島県林業会館理事長賞		小田 琉依	(おだ るい)
NHK福島放送局長賞		小林 一心	(こばやし いっしん)
ラジオ福島社長賞		永田 康大	(ながた やすひろ)
福島テレビ社長賞		菅井 景悠	(すがい けいと)
アクアマリンふくしま賞		舟山 凜太郎	(ふなやま りんたろう)
福島県木材青壮年協会長賞	第1部	井上 生暉	(いのうえ いぶき)
福島県木材青壮年協会長賞	第2部	菱沼 颯	(ひしぬま そう)

開催の趣旨

【目的】

再生可能な循環型資源として広く知られている木材は、地球温暖化防止に極めて有効な二酸化炭素の固定の手段としても注目を浴びています。このように優れた特性を持つ木材を実際に自分で切ったり、削ったり、組み合わせながら、香り・色・肌触り等の木の持つ良さを実感することで、未来を担う子どもたちの感受性を豊かにするお手伝いをしながら、木材の利用推進を図ることとします。

【主催等】

- ◇ 主催 ◇ 福島県木材青壮年協会・株式会社福島民報社・福島県木材協同組合連合会
- ◇ 後援 ◇ 福島県・福島県教育委員会・関東森林管理局・いわき市・一般財団法人福島県林業会館・NHK福島放送局・株式会社ラジオ福島・福島テレビ株式会社・公益財団法人ふくしま海洋科学館・磐城流域いわき地区林業活性化センター
- ◇ 助成金 ◇ フォレスト助成金制度による協賛金事業

【応募資格】

- (1) 福島県内の小中学校の児童・生徒であること。
- (2) 木材及び林産物を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは一辺の大きさが60cmを越えないもの。

【審査基準】

	配点(100点)
(1) 子どもの頭で考え、子どもの手で作ったもの。	30点
(2) 木の持ち味を活かし、独創性に優れていること。	30点
(3) 機能、デザインが優れているもの。	20点
(4) 工作技術が優れているもの。	20点

経過説明

【審査内容】

1. 出展作品数 総数433点（24校）
うち、各校より推薦のあった76点について審査した。
2. 審査会 令和4年9月22日いわき・ら・ら・ミュウにおいて、次の審査委員により「入賞者名簿」のとおり各賞が決定された。

◇審査委員◇（敬称略）

<審査委員長>

福島大学人間発達文化学類教授	新井 浩
関東森林管理局磐城森林管理署長	高塚 慎司
福島県いわき農林事務所森林林業部 林業課長	松本 文章
福島県教育長義務教育課指導主事	米本 順一
いわき市農林水産部林務課長	根本 和弘
福島民報社いわき支社長	円谷 真路
福島県木材協同組合連合会専務理事	前田 洋
ラジオ福島いわき支局長	渡邊 和之
福島テレビいわき支社長	岡田 健太郎
ふくしま海洋科学館理事長	古川 建
福島県木材青壮年協会会長	山崎 和昭



【そ の 他】

3. 全国コンクールへの参加

上位入賞作品については、令和5年1月～3月開催の全国コンクールに出展し、さらに入賞した作品については、令和5年6月3日高知市で開催される日本木材青壮年団体連合会全国会員大会会場において表彰される。

※実施日程については変更となる可能性が御座います。

4. 作品の展示及び展示期間

令和4年9月23日（金）～9月25日（日）

於：いわき・ら・ら・ミュウ 2階 会議室（いわき市）

令和4年9月26日（月）～10月10日（月）

於：アクアマリンふくしま（いわき市）

受賞作品は県木連のホームページからも見ることができます。

木工工作コンクール記事 URL

<http://www.fmokuren.jp/publics/index/21/>

QRコードからも該当記事に繋がります。



講 評

第 47 回福島県児童・生徒木工工作コンクール審査委員長

福島大学人間発達文化学類教授

新 井 浩

第 47 回福島県児童・生徒木工工作コンクールの審査はいわき・ら・ら・ミュウで行われました。その審査結果について講評を交えお伝えします。

今年度は新型コロナウイルス感染症の脅威もやや弱まったと伝えられるものの、一方で感染力は強まり、不安も混じる中での作品製作だったろうと思います。しかしながら入賞を果たした作品は、のびやかな発想やしっかりと造りこんだ作品で、とても見応えがありました。

福島県知事賞第 1 部に選ばれた^{あんざいくるみ}安西来真さんの〈海でおよぐいか〉は大小の流木で泳いでいる様子のいかを表した作品でした。ゆったりと翻る触腕がのびやかで、背景にあっさり描かれた水色との相性がとても良い作品で、知事賞にふさわしい作品になりました。

福島県知事賞第 2 部に選ばれたのは^{たくしまゆうた}福島悠太さんの〈とらの親子〉です。30 cm 程度の木材を刃物を使ってしっかりと彫り上げた作品で、たいへんな労力と粘り強い意欲を感じさせる作品で、たいへん好感が持てました。マツボックリを背景の山に見立てた様子なども工夫の跡が見られ、こちらも知事賞にふさわしい作品でした。

県教育委員会教育長賞第 1 部は^{かんのひろと}菅野悠翔さんの〈海でひろった木で〉が選ばれました。海で拾った木で 4 頭の恐竜を生き生きと作った作品で、のこぎりで一生懸命切った作品だと聞きました。愛らしさとのびやかさがとても魅力的でした。

県教育委員会教育長賞第 2 部は^{おだちひろ}和田千広さんの〈秋の散歩道〉に決定しました。一枚一枚の黄葉した葉っぱをカンナくずを丁寧に切り抜き、銀杏の並木道に仕立てた作品です。道は遠近が強調されるよう幅が整えられ、とても美しく、よく考えられた作品でした。

関東森林管理局長賞に選ばれたのは^{たかはしきち}高橋佐知さんの〈あじのもけい〉です。魚のアジの体が良くわかるよう蝶つがいを使って左右に開けるように作っています。側線や骨の様子もよく観察してある作品で、これから作られる作品もとても楽しみです。

いわき市長賞に選ばれた木村惺^{きむらせい}さんの〈戦艦〉は第二次大戦中に日本のフラッグシップであった戦艦大和でしょうか。特徴のある艦橋やアンテナが良く表され、波や煙突の煙がカンナくずで勇壮に表現されている作品でしたね。

福島民報社長賞に選ばれた福島英慈^{ふくしまえいじ}さんの〈プテラノドン〉は流木を使ったところがプテラノドンの質感を表すのにとても効果的な作品でした。下のマツボックリは原始の森がはるか彼方に小さく見えるように選ばれていて、よく考えられている作品でしたね。

次は県木連会長賞に選ばれた下坂海翔^{しもさかかいと}さんの〈夏の思い出〉です。海底のウミガメの様子がしっかりと表された作品です。甲羅の様子やサンゴや海藻の様子も丁寧に作られていました。

県林業会館理事長賞に選ばれた小田琉依^{おだるい}さんの〈木の小田原城〉では小田原城が石垣からシャチホコまで丁寧に造られています。窓や屋根瓦はとても細かな作業だったろうと思いますし、シャチホコも細かい造作が見事でした。

NHK福島放送局長賞に選ばれたのは小林一心^{こばやしいつしん}さんの〈ゆらゆららんど〉です。一見すると帽子やコートをかけるハンガーのようですが、伸びた枝に掛けるフックの数や位置で左右にゆらゆらする仕掛けに驚きました。とても知的なおもちゃでした。

ラジオ福島社長賞には永田康大^{ながたやすひろ}さんの〈木工の富がく三十六景〉が選ばれました。葛飾北斎の神奈川冲浪裏を木の皮や枝で作った作品です。版画の平面が質感豊かな立体になり、迫力満点でした。

福島テレビ社長賞に選ばれた菅井景悠^{すがいけいと}さんの〈クールなクワガタ〉では家で飼っているかっこいいクワガタをモチーフに、さらにかっこいいポーズを選んで作っています。質感の豊かさとクワガタや足の造形がとてもクールでした。

昨年から新設されたアクアマリンふくしま賞は舟山凜太郎^{ふなやまりんたろう}さんの「大好きタカアシガニ」に決定しました。「脚が長がかっこいい」と感じたカニを堂々と大きく作り、アクアマリンふくしまにふさわしい受賞となりました。

県木青協会賞第1部に選ばれた井上生暉^{いのうえいぶき}さんの〈希望のたまご〉は内側に光るものを木の繊維で大きく包み、椰子の葉のような双葉が添えられています。卵のようにも植物の種のようにも見え、明るく輝く未来を想起させる素晴らしいテーマと作品でした。

菱沼^{ひしぬまそう}さんの〈自然もり森カレンダー〉は県木青協会賞第2部に選ばれました。月～日曜までの木製パネルに1～31日までの日付が掛け替えられる自然味あふれるカレンダーでした。このカレンダーがあるだけで森の空気感が感じられ、キャンプやハイキングに行きたくなります。

今回の木工工作コンクールでは、子どもたちが木を彫る、木をつなげる、木のある表情を活かす、など木材と親密に接した様子をたくさん感じることができました。人は外見の上では似たような姿かたちをしています。しかしながら内面は人によって大きく異なります。内側に多くものが入っている、というだけでは上手くいきません。内面により良い、多くのものを、関連付けながら積み上げていくことで、今まで出来なかったことが出来るようになります。

歴史物のテレビドラマで、ある家族の子供の頃の環境が、父の世代、子の世代、兄弟による違いに描き分けられていました。のちに歴史上大きな足跡を残す人物は、子ども時代に兄弟のほか、親からはぐれた子どもや、戦災で親を失った子どもと一緒に育てられていました。たくさん子どもたちと喧嘩したり仲良くなったり、そうした濃密な環境の中で、人とはどういったもので、どう付き合えば力を発揮してくれるかを身に付けていったのではないのでしょうか。そして脚本家はそうしたメッセージをこの作品に込めることで、争いの少ない社会がどうしたら出来るかを考えさせたかったのではないかと考えます。

人との付き合いと、木との付き合いは似ているところがあります。人も木も癖があります。その癖を無視してしまえば決して上手くはいきません、その癖を理解しながらその癖が活きるように仕向けていく、または折り合いをつけていく。その力量は座って学んでいるだけでは決して身に付かず、全身で何度も、何度も確かめていくことで身に付いていきます。

これから大人になって世の中で活躍することを期待される子どもたちは、人や木という癖のある相手とたくさん付き合っほしいと思います。それは難しいことではなく、出来なかったことが出来るようになる楽しいことなのです。

そうした過程で身に付けた力量が子ども達の将来や世の中をより良く変えていくための力になることを願って、講評の言葉と致します。

入賞者名簿

【最優秀賞】

福島県知事賞 1 部	海でおよぐいか	福島市立 野田小学校	2 年	あんざい くるみ 安西 来真
福島県知事賞 2 部	とらの親子	いわき市立 小名浜第三小学校	6 年	ふくしま ゆうた 福島 悠太

【優秀賞】

福島県教育委員会 教育長賞 1 部	海でひろった木で	いわき市立 高野小学校	4 年	かんの はると 菅野 陽翔
福島県教育委員会 教育長賞 2 部	秋の散歩道	いわき市立 小名浜第二小学校	5 年	わだ ちひろ 和田 千広
関東森林管理局長賞	あじのもけい	いわき市立 赤井小学校	2 年	たかはし さち 高橋 佐知
いわき市長賞	戦艦	いわき市立 磐崎小学校	4 年	きむら せい 木村 惺
福島民報社長賞	プテラノドン	いわき市立 小名浜第三小学校	2 年	ふくしま えいじ 福島 英慈
福島県木材協同組合連合会長賞	夏の思い出	いわき市立 好間第一小学校	6 年	しもさか かいと 下坂 海翔
福島県林業会館理事長賞	木の小田原城	いわき市立 小名浜第三小学校	6 年	おだ るい 小田 琉依
NHK福島放送局長賞	ゆらゆららんど	いわき市立 小名浜第二小学校	3 年	こばやし いっしん 小林 一心
ラジオ福島社長賞	木工の富がく三十六景	いわき市立 中央台東小学校	5 年	ながた やすひろ 永田 康大
福島テレビ社長賞	クールなクワガタ	いわき市立 中央台東小学校	3 年	すがい けいと 菅井 景悠
アクアマリンふくしま賞	大好きタカアシガニ	いわき市立 泉小学校	3 年	あなやま 凜太郎 芦山 凜太郎
福島県木材青壮年協会 会長賞 1 部	希望のたまご	いわき市立 泉小学校	4 年	いのうえ いぶき 井上 生暉
福島県木材青壮年協会 会長賞 2 部	自然もり森カレンダー	福島市立 野田小学校	5 年	ひしぬま そう 菱沼 颯

【入選】

福島県木材青壮年協会会長賞	トトロの遊園地	柳津町立 柳津小学校	2年	たさき あいか 田崎 愛華
	○×ゲーム	いわき市立 上遠野小学校	2年	にしむら こころ 西村 心希
	なぞの森のきのこ城	いわき市立 御厩小学校	4年	えんどう さき 遠藤 早姫
	開かずのたから箱	いわき市立 藤原小学校	4年	いとう つむぐ 伊藤 紡
	伝説の魚VS伝説の鳥	いわき市立 小名浜第二小学校	2年	わだ あきよし 和田 晃義
	きよだいかまきり	いわき市立 平第五小学校	1年	あんどう たいき 安藤 大起
	ふるいいす	いわき市立 小名浜第一小学校	3年	ほりこし あおい 堀越 葵
	寄せ木ペン立て	福島市立 野田小学校	5年	にへい あつや 二瓶 徳哉
	ネイチャーブーケ	柳津町立 柳津小学校	6年	たさき はやか 田崎 颯華
	Flower Lamp	いわき市立 御厩小学校	6年	すずき こころ 鈴木 心愛
夏詣	いわき市立 郷ヶ丘小学校	5年	いしい そよか 石井 そよか	
ウッドフィッシュをウッド クロック	いわき市立 平第五小学校	6年	かも しょうご 鴨 昇吾	

☆☆☆第47回福島県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品☆☆☆

(敬称略)

福島県知事賞 1部



「海でおよぐいか」

福島市立野田小学校
2年 安西 来真

福島県知事賞 2部



「とらの親子」

いわき市立小名浜第三小学校
6年 福島 悠太

福島県教育委員会教育長賞 第1部



「海でひろった木で」
いわき市立高野小学校
4年 菅野 陽翔

福島県教育委員会教育長賞 第2部



「秋の散歩道」
いわき市立小名浜第二小学校
5年 和田 千広

関東森林管理局長賞



「あじのもけい」
いわき市立赤井小学校
2年 高橋 佐知

いわき市長賞



「戦艦」
いわき市立磐崎小学校
4年 木村 惺

福島民報社長賞



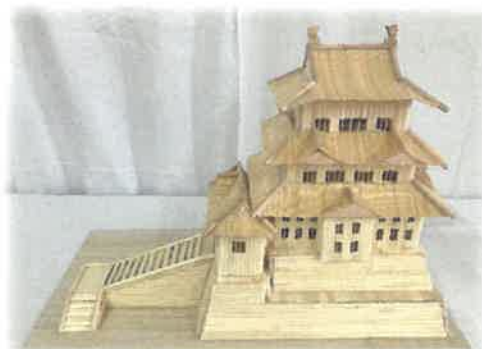
「プテラノドン」
いわき市立小名浜第三小学校
2年 福島 英慈

福島県木材協同組合連合会長賞



「夏の思い出」
いわき市立好間第一小学校
6年 下坂 海翔

福島県林業会館理事長賞



「木の小田原城」
いわき市立小名浜第三小学校
6年 小田 琉依

NHK福島放送局長賞



「ゆらゆららんど」
いわき市立小名浜第二小学校
3年 小林 一心

ラジオ福島社長賞



「木工の富がく三十六景」
いわき市立中央台東小学校
5年 永田 康大

福島テレビ社長賞



「クールなクワガタ」
いわき市立中央台東小学校
3年 菅井 景悠

アクアマリンふくしま賞



「大好きタカアシガニ」
いわき市立泉小学校
3年 舟山 凛太郎

福島県木材青壮年協会長賞 第1部



「希望のたまご」
いわき市立泉小学校
4年 井上 生暉

福島県木材青壮年協会長賞 第2部



「自然もり森カレンダー」
福島市立野田小学校
5年 菱沼 颯